

福米東小学校 福祉教育の取り組み

福祉教育の目標

- 人間尊重の精神を基調とし、進んでよいことをしようとする実践力のある、豊かな人間性をもった子どもの育成に努める。
- 温かい心のふれあいを大切にし、互いに励まし合い、助け合っていく態度を育てて福祉の心を養う。
- 力を合わせて、明るく住みよい社会をつくっていかうとする意欲と態度を育てる。

委員会活動（福祉委員会・飼育栽培委員会） 赤い羽根共同募金、緑の羽募金

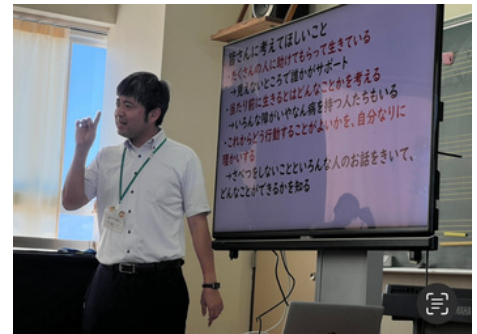
福祉委員会は、赤い羽根募金がわたしたちのまちの福祉施設や困っている人のために役立てられていることや、緑の羽根募金は森林整備や災害復興支援に役立てられることなどをスライドにまとめ、クイズや放送で全校に向けて伝えました。



栽培委員会は、緑の羽根募金で集まった募金の一部でパンジー、ビオラなどを植える活動をして、学校の緑化活動に役立てました。

3年生 総合的な学習の時間

3年生は、「広げよう温かい心 みんなが大切にされる社会」をテーマに学習に取り組みました。地域の方やゲストティーチャーとの貴重な出会いを通して、互いに支え合おうという思いやりの気持ちをもちました。



【手話教室】

手話教室ではゲストティーチャーを招き、自分の名前や挨拶の手話を教えていただきました。また、手話以外にも指文字やジェスチャー、筆談、口話など様々なコミュニケーション方法があると学びました。

【高齢者疑似体験】

高齢者疑似体験では、高齢者の方の見えにくさや、聞こえにくさ、手や足を動かすことの困難さを実際に体験しました。高齢者の方は「自分のことは自分でしたい」と思っておられる方も多いため、困っている人を見かけたらまずは声をかけ、相手の気持ちを大切にしながら関わっていくとよいことを学びました。

